

地域密着型金融の推進に関する
取組み状況について

平成 26 年 5 月
株式会社 千葉銀行

地域密着型金融の推進に関する取組み状況について

ちばぎんグループでは、持続可能な地域社会実現のため、本業をつうじた金融仲介機能の発揮等に加え、誠実かつ公正な企業活動や環境問題など、地域社会を取り巻く様々な課題解決に向けたCSR活動に取り組んでおります。

地域密着型金融の推進は、CSR活動における「本業」及び「地域貢献活動」につながる重要な活動であり、平成25年度は東日本大震災からの復興や新たに発生した災害からの復旧に向けた支援のほか、お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮や地域活性化に向けた支援に引き続き取り組みました。

(1) 東日本大震災からの復興支援及び新たに発生した災害からの復旧支援への取組み

東日本大震災における被災企業等の二重債務問題解決、事業再生支援に継続して取り組むとともに、平成25年9月に発生した千葉県野田市・埼玉県越谷市の突風災害及び平成25年10月に関東地方に大きな被害をもたらした台風26号による災害からの復旧を支援するため、被災者向け融資制度を創設し、円滑な資金供給を迅速に行いました。

<平成25年度の主な取組み>

■ 債権買取ファンドを活用した被災企業の再生支援

- ・千葉産業復興機構^(注)の活用実績：9件
- ・茨城県産業復興機構の活用実績：1件
- ・東日本大震災事業者再生支援機構の活用実績：3件

(注) 千葉県内被災企業等の事業再建に大きな障害となる「二重債務問題」を解消することを目的に、中小企業基盤整備機構、千葉県、地元金融機関等との協調出資により設立。

■ 制度融資を活用した被災者支援への取組み

- ・東日本大震災復興緊急保証の活用実績：85件/1,745百万円
- ・東日本大震災被害復旧融資制度の活用実績：23件/378百万円
- ・災害復旧支援融資制度（野田市・越谷市突風災害）の活用実績：2件/2百万円
- ・災害復旧支援融資制度（台風26号災害）の活用実績：3件/24百万円

(2) お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

① 〔創業、新規事業支援〕

創業及び新規事業にかかる資金ニーズへの対応や成長分野関連事業への各種支援を行いました。

② 〔事業拡大支援〕

成長段階にある企業の更なる飛躍に向け、様々な支援を行いました。

③ 〔経営改善、事業再生支援〕

外部機関等も活用しながらコンサルティング機能を発揮し、引き続きお客さまの実情に応じた再生支援活動を実施しました。

④ 〔事業譲渡、事業承継支援〕

債務整理等に向けた適切な助言や事業譲渡、事業承継支援を行いました。

<平成25年度の主な取組み>

①【創業支援、新規事業支援の主な取組み】

■ 公益財団法人「ひまわりベンチャー育成基金」による助成金の交付（9件/27百万円）

■ ちばぎんキャピタルによるベンチャー企業向け投資の取組み（4件/152百万円）

■ 各種補助金制度申請のサポート

・「創業補助金」申請のサポート（103件）

・「ものづくり補助金」申請のサポート（126件）

経営革新等支援機関として、起業・創業、海外需要の新規獲得、新たなものづくりへの挑戦等に取組む個人や中小企業に対し、その費用の一部を国が補助する各種補助金制度の申請をサポートしました。

■ 千葉県産業振興財団主催の「ベンチャーカップCHIBA^(注)」への協賛

(注) 新規性・独創性に富んだビジネスプランの事業化を志す起業家を表彰する制度

■ 農業法人化支援および異業種による農業参入支援（9件）

②【事業拡大支援の主な取組み】

■ 商談会開催（9回、うち個別企業商談会6回）

【主な取組み】

・「第4回ちばぎんアグリ商談会」の開催

農業生産者の販路拡大を目的としたビジネスマッチング商談会を開催しました。スーパー、外食、食品加工・卸等の食品企業バイヤー21先に対し、農業事業者等53先が米、野菜、果物、食肉等の農産物をPRする形式で、240件の商談機会を提供しました。

・「第2回ちばぎんビジネスマッチング商談会 in ウランバートル」の開催

「第4回モンゴルウランバートル日本祭」において、当行専用の商談ブースを設営し、顧客企業4社が現地情報の収集とともに販路拡大に向けた現地バイヤーとの商談を行いました。

■ セミナー開催（9回）

【主な取組み】

・海外進出企業向け支援セミナー開催（5回）

ベトナム、マレーシア、モンゴルにおける経済情勢や投資環境、ならびに「人民元決済」や食品産業などがムスリム市場に参入する際に必要な「ハラール認証」など幅広いテーマについて、セミナーをつうじて情報を提供し、海外進出を検討している企業を支援しました。

・医療機関等向けセミナー開催（2回）

「医療と介護の連携」や「看護師採用」など、医療機関・介護事業者の関心の高いテーマについて、医療コンサルティング会社など専門家を講師に招き、有益な情報を提供しました。

■ 「地域再生・活性化ネットワークに関する協定書」の締結

平成26年1月、県境・地域を越えて活躍される事業者の様々な経営課題やビジネスニーズに対し、本ネットワークに参加する地方銀行の金融仲介機能を活用することで最適なソリューションを提供していくため、他地域の地方銀行8行との間で連携に関する協定を締結しました。

■ 外国銀行との業務提携による金融面のサポートをつうじた取引先企業のアジアビジネス支援強化

・外国銀行との協調によるスタンドバイL/C：7件/2,400百万円

【当行のアジアネットワーク】（下線箇所は平成25年度の新規提携先）

当行アジア拠点：香港支店、上海駐在員事務所、シンガポール駐在員事務所

外国銀行との提携：タイ「バンコック銀行」、中国「交通銀行」、英国「スタンダードチャータード銀行」、インドネシア「CIMB ニアガ銀行」、インド「インドステイト銀行」、フィリピン「メトロポリタン銀行」、香港「東亜銀行」

■ 他業態企業・自治体等との業務提携効果を発揮した取引先企業のアジアビジネス支援

【他業態企業との提携】（下線箇所は平成 25 年度の新規提携先）

日本通運株式会社、日本興亜損害保険株式会社、セコム株式会社、総合警備保障株式会社、興銀リース株式会社

【自治体等との提携】

独立行政法人日本貿易保険、千葉県、千葉市、香港貿易発展局

■ 「海外展開一貫支援ファストパス制度^(注)」への参画

本制度への参加により、海外展開を検討している中堅・中小企業への一貫的なサポート体制が拡充されました。

(注) 地域金融機関や商工会議所などの国内各地域の企業支援機関が、外務省や日本貿易振興機構（JETRO）などの海外展開支援に知見のある公的機関の協力を得ながら、中堅・中小企業の海外展開を支援する制度。

■ M&Aスキームの活用による事業拡大支援（成約：7 件）

■ 担保や個人保証に過度に依存しない多様な資金調達手段の提供

- ・シンジケートローン(当行アレンジ分)：28 件/41,055 百万円
- ・私募債：116 件/10,550 百万円
- ・A B L：84 件/6,488 百万円（うち保証協会保証付き 22 件/1,163 百万円）
- ・債権流動化：買取額合計 62,637 百万円

なお、業務マニュアルの制定、動産評価システムの導入など、当行の A B L 融資の高度化に向けた取組みが評価され、関東財務局より、平成 25 年度地域密着型金融に関する取組みへの顕彰を受けました。

■ 顧客企業の環境への取組みを支援する融資の促進

- ・太陽光発電事業支援融資制度「ちばぎんエコ・パワー^(注)」（融資実績：82 件/2,843 百万円）

(注) 平成 24 年 9 月、再生可能エネルギー発電事業へ参入する事業者を金融面で支援するため、国の「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」に対応した発電事業者向けに創設した融資制度。

■ 農林漁業の成長産業化を支援するファンドの創設（ファンド総額：20 億円）

農林漁業の成長産業化と地域経済活性化に貢献することを目的に、県内に本店を置く 11 金融機関が共同で「ちば農林漁業 6 次産業化投資事業有限責任組合」を設立しました。

なお、平成 25 年 9 月に、当行が出資受入れの支援を行った「植木・盆栽のグローバルプロジェクト」が第一陣案件（全国で 3 件）の 1 つとして、(株)農林漁業成長産業化支援機構より出資同意の決定を受け、平成 25 年 12 月に 50 百万円の出資を実行しました。

③【経営改善、事業再生支援の主な取組み】

■ 主要な計数

項目名		25 年度実績	(ご参考) 24 年度実績
正常先を除く期初債務者数	A	14,471 先	14,319 先
うち経営改善支援取組先数	α	511 先	578 先
うち期末に債務者区分がランクアップした先数	β	22 先	18 先
うち再生計画を作成した先数	γ	463 先	528 先
経営改善支援取組み率	α / A	3.5%	4.0%
ランクアップ率	β / α	4.3%	3.1%
再生計画策定率	γ / α	90.6%	91.3%

■ 外部機関との連携による経営改善支援

- ・中小企業再生支援協議会、千葉県産業復興相談センターへの相談実施：67件
- ・千葉県産業復興相談センターによる出張相談会の開催支援：14回
- ・経営改善計画策定支援事業における認定支援機関との連携：28件

■ 新たな再生手法の活用による事業再生支援

- ・DDSの実施：3件/415百万円
- ・事業再生ADRの活用：1件
- ・M&A（株式譲渡による事業継続支援）の実施：1件
- ・第二会社方式^(注)の活用：1件

(注) 債務者の資産および負債を、今後の事業継続に必要なもの（Good 事業）と、そうでないもの（Bad 事業）に分け、Good 事業を事業譲渡や会社分割を用いて切り出した新会社を存続（再生）させ、Bad 事業を残した旧会社は特別清算手続等により清算する手法。

■ 「千葉県中小企業支援ネットワーク^(注)」への参画

- ・ネットワーク会議への参加：2回
- ・経営サポート会議の活用：32件

(注) 平成24年11月、中小企業に対する経営改善・事業再生・業種転換等の支援の実効性を高めるため、県内地域金融機関、千葉県税理士協会、千葉県中小企業診断士協会等の諸団体を構成員（事務局：千葉県信用保証協会）として創設された機関。関係団体が情報共有を行う「ネットワーク会議」と、関係金融機関や保証協会等が経営改善計画、資金繰り、返済方法の見直し等にかかる意見交換を行う「経営サポート会議」が開催されています。

■ 国土交通省との「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業^(注)」に関するパートナー協定の継続

当行は事業パートナーとして、本事業により支援を受けるべき顧客企業の推薦や事業目標の達成に向けた継続的な支援を国土交通省と連携して行っています。

(注) 国土交通省が平成23年度より実施している建設業を対象とした経営支援事業。

■ 「千葉県中小企業支援プラットフォーム^(注)」への参画

中小企業が抱える経営課題の解決に向け、本プラットフォームが有する専門家派遣機能等を活用した支援を行うことが可能となりました。

(注) 千葉県内の中小企業支援を行う機関の連携体。千葉県産業振興センターを代表機関とし、金融機関、商工会議所等で構成される。

④【事業譲渡、事業承継支援の主な取組み】

■ 後継者不足等の課題解決策としてのM&Aスキームの活用による事業譲渡支援（成約：5件）

■ 相続関連業務の受託による資産承継・事業承継支援

- ・経営承継サポートサービス：1件
- ・遺言作成サポートサービス：142件
- ・遺言信託：107件
- ・遺産整理業務：46件

■ 「経営者のためのM&Aセミナー」の開催（参加企業：38社）

高齢化により事業承継ニーズが高まっている企業や、事業拡大ニーズのある企業の経営者に対して、M&Aを切り口とした課題解決手法などの情報を提供しました。

(3) 地域の面的再生への参画

自治体や地元大学と連携した諸活動の推進により地域活性化に貢献するとともに、公共施設等の建て替えニーズへの対応や区画整理・再開発事業に計画段階から関与するなど、地域の面的再生に積極的に参画しております。

<平成25年度の主な取組み>

■ 千葉市との「地域経済活性化に関する連携協定^(注)」に基づく活動

千葉市が主催した「第1回検見川ビーチフェスタ」に協賛し、県内の農業生産者・食品加工業者を支援するため、千葉県農産品販売フェア「ちばぎんマルシェ」の運営を行いました。

(注) 平成23年11月、国際経済交流の推進、企業立地支援、創業・新規事業創出支援、地産地消・農商工連携、観光振興等、地域の振興に向け幅広く協力していくことを目的に締結した千葉市との協定。

■ 千葉大学、千葉工業大学と連携した「ちばぎん・研究開発助成制度^(注)」による助成金交付

(11件/13百万円)

(注) 地元大学の研究結果を中小企業の新たな技術・商品開発ニーズとマッチングすることで中小企業の成長をサポートし、地域の産業及び経済の発展に寄与することを目的に創設した助成制度。

■ 千葉県内自治体に対するPFI事業の情報提供及び県内外のPFI事業の資金ニーズへの対応

(融資実績：6件/7,760百万円)

■ 地域情報の行内マッチングに基づく地権者向け不動産有効利用提案及び資金ニーズへの対応

・マッチング件数：185件

・土地有効利用関連融資実行額：22,266百万円

■ 千葉県信用保証協会との提携保証制度「レント^(注)」を活用した個人不動産賃貸業向け支援

(融資実績：17件/909百万円)

(注) 平成24年10月、千葉県内の賃貸用不動産供給にかかる潜在的な資金需要に対し、個人の不動産賃貸事業者の資金調達手段を広げ、円滑な資金供給を図ることを目的に、千葉県信用保証協会との提携により創設した保証制度。

(4) その他

上記に加え、以下の活動も実施いたしました。

<平成25年度の主な取組み>

■ 「公益財団法人ちばぎんみらい財団^(注)」の設立

県内中小企業の従業員を対象とした海外視察派遣、県内幼稚園でのオーケストラ公演、「ちばぎん金融資料室」の運営・管理を主な事業として活動を開始しました。

(注) 平成25年4月、創立70周年記念事業の一つとして、産業・文化・芸術の振興および生活・福祉の向上に資する事業をつうじて地域社会の持続的な発展に貢献することを目的に設立した財団。

【中小企業等従業員に対する海外派遣事業】

第1回：平成25年10月、タイ（バンコク）・シンガポールに16名を派遣。

第2回：平成26年2月、ベトナム（ハノイ・ホーチミン）に13名を派遣。

【県内幼稚園でのオーケストラ事業】

平成25年10月から12月にかけて、5園で公演を実施しました。

■ 「ちばぎんハートフル福祉基金」による第4回助成金交付（15件/8百万円）

■ 「学生向けビジネスアイデアコンテスト^(注)」の開催（応募数 45 件、うち 4 件を表彰）

(注) 地域経済の将来の担い手となる、学生の起業家志向の向上を図り、地域産業および経済の発展に寄与することを目的としたコンテスト。

■ 「第 3 回ちばぎん省エネ・ECO セミナー」の開催（参加企業：24 社）

経営コストの削減に有用な「省エネ」に関する情報提供を通じ、中小企業者の経営改善と主体的な環境への取組みを支援しました。

■ 「千葉県 28 大学合同就職セミナー2013」の開催（参加企業：48 社、参加学生：201 人）

■ 「厚生年金基金セミナー」の開催（参加企業：38 社）

厚生年金保険法の改正により原則廃止となる厚生年金基金に加入する企業を対象に、法施行による影響や対応策に関する情報を提供しました。

■ 「千葉と愛媛の観光・物産展示会」の開催（来場者：約 4,500 名）

■ 「ひまわりニーズNAVI（WEB版）^(注)」による会員企業向け情報サービスの提供

（会員数：5,993 先、アクセス件数：37,128 件、会員情報掲載先：751 件、企業情報登録先：637 件、ニーズ登録件数：659 件、マッチング交渉件数：226 件、マッチング成立件数：102 件）

なお、登録情報を基幹系システム共同化プロジェクト（「TSUBASA（翼）プロジェクト」）参加行に対し提供した結果、ニーズ登録先が第四銀行（本店：新潟市）主催の商談会にバイヤーとして参加するなど、地域を越えたビジネスマッチングが成約しました。

(注) ちばぎん総合研究所の会員を対象とした無料のビジネスマッチングサービス

■ 県内自治体の高齢者等見守りネットワーク事業^(注)への協力

金融機関を協力事業者の対象としてネットワーク事業を展開している県内全自治体（10 市町）と協定を締結しました。

(注) 地域に密着している事業者が通常の事業活動の中で高齢者等の異変に気付いた場合、自治体へ連絡し、連絡を受けた自治体が状況確認を行い、適切な支援に繋げる連携事業。

■ ご高齢やお体の不自由なお客さまへのサービス向上に向けた取組み

- ・「認知症サポーター養成講座」の開催（25 年度受講者：170 名、認定者累計：849 名）
- ・サービス介助士の取得促進（25 年度取得者：26 名、取得者累計：392 名）